

いちのみや 公共施設再編ニュース

Vol. 4 令和4年8月22日発行

■第1回一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会を開催しました(令和4年7月29日)

令和4年7月29日に第1回一宮地区公共施設再編整備基本計画策定委員会を開催し、令和3年度に策定した一宮地区公共施設再編整備基本構想を踏まえ、本年度の検討内容とスケジュール、再編整備プランについて議論が行われました。



竹本市長

基本計画の策定にあたっては、皆様の積極的な意見交換、忌憚のない意見をお願いいたします。

浅野教授(委員長)

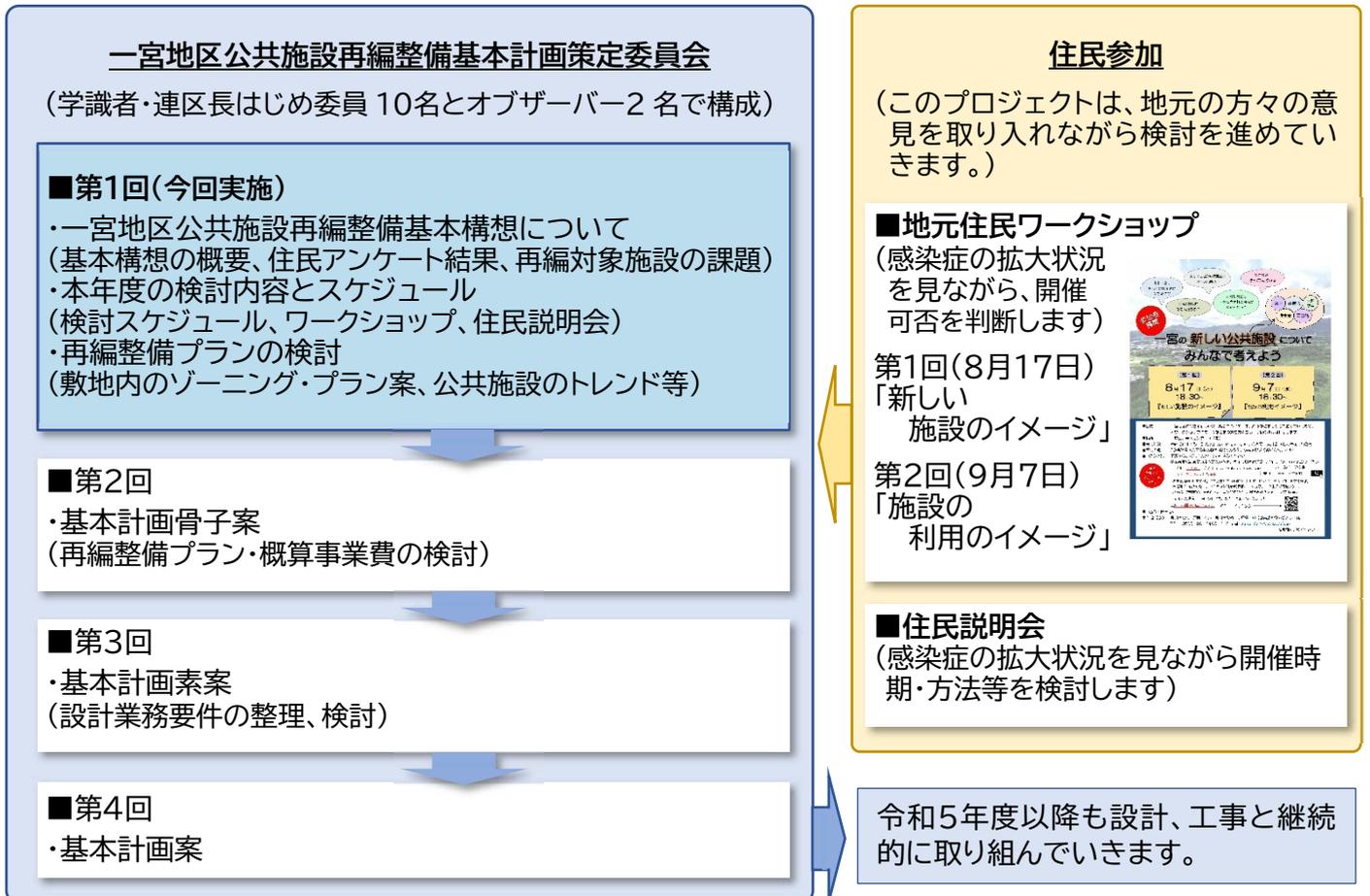
本委員会が円滑に運営されますよう努めてまいりますので、ご協力よろしく申し上げます。

宇野教授(副委員長)

副委員長としてご指名された通り知識・経験を生かして頑張りますので、よろしくお願いいたします。

■本年度の検討スケジュール

策定委員会(全4回)の実施、地元住民ワークショップ(全2回)と住民説明会の開催を予定しています。



■主な議論内容

■敷地内のゾーニング・プラン案

事務局より提示した対象敷地内のゾーニング・プラン案(施設の配置)について、多くの意見が出されました。



【新施設、体育館】

- 様々な年代方が利用する施設としては、2階建くらいの低層の施設の方がいいと思う。
- 国道151号線側を表とすると、体育館や駐車場は裏へ配置し、表側に地域の象徴となる新施設が建つといいと思う。新施設を前面に配置することで、地域のシンボル性を果たすことが考えられる。
- 国道沿いに象徴的な建物を置くことで通りの賑わいにも貢献できるのではないか。
- 一宮体育センター、生涯学習センター、農業者トレーニングセンターの体育機能が集約されて、1つの体育館となるので、現状の活動が維持できる機能をもった体育館の検討が必要である。

【広場】

- 広場に求める視点について、防災の視点、地域の賑わいの視点(公園のようになってイベントが開催され人が集まる場所)などが考えられる。
- 体育館と広場が隣接していることで一体的に使用することができ、防災面及び災害時の視点から良いと思う。
- 地域の賑わいのための広場であれば、新施設と体育館の間に配置した方が良いのではないか。

【駐車場】

- 駐車場について、身体の不自由な方に対しては施設に近接した場所に配置するなど、設計段階にて十分検討が必要である。

【その他】

- 広場や駐車場を前面に設けた場合、前の通りから見たときにランドスケープ的に優れており、敷地全体を有効に活用することができる。
- 施設単体のことだけでなく、地域でどういう使い方をしていきたいのか、その考えを取り入れて検討を進めていく必要がある。

委員会での意見・議論を踏まえて各パターンを修正し、今後はワークショップ等にて地域住民よりご意見をいただきながら検討を進めていきます。
各パターンについて賛否両論ございますが、最終的には1つの案としてまとめていきます。

<問い合わせ先>

豊川市総務部財産管理課

電話 0533-89-2108 FAX 0533-89-2163

http://www.city.toyokawa.lg.jp/shisei/gyoseiunei/manejiment/zaisankanri_2020ichi.html

